



ICRC

# Press Release



学校法人  
日本赤十字学園  
Japanese Red Cross Academy

日本赤十字社

平成 23 年 11 月 30 日

報道機関各位

## 取材のご案内

### 2011 年国際人道法模擬裁判の国内大会開催のご案内

赤十字国際委員会は来る12月3日(土)、国際人道法模擬裁判大会・国内予選を開催します。

模擬裁判では、戦時のルールである国際人道法を基に架空の問題が設定され、学生から成るチームが原告と被告に分かれて議論を闘わせます。ロールプレイング方式を用いることで、国際人道法を机上の学問としてでなく、実践できる法律として学生に認識してもらうことを目的としています。

今年の国内予選では、日本の大学から、単独・混成を含めた**5チームが出場**します。国内予選で優勝したチームは、香港で来年3月に開催予定の本選「第10回アジア太平洋国際人道法模擬裁判大会」に日本代表として出場します。昨年度は14の国と地域から20の大学が集結し、日本からは京都大学が本選に進出しました。

国際貢献に興味のある学生を集め、将来国際社会で活躍するヤングリーダーの発掘・育成も兼ねたイベントとなっています。是非取材にお越しく下さい。

【国内予選 問題概要】ヴァニリア連邦からロソヴォ地方の分離独立を求めるノマグ民主抵抗同盟(NDSA)は、以前からリゾバ市で独立運動やデモを行っていた。緊張が高まるにつれて抗議活動は激化。NDSAの指揮下にある勢力・NSAは2009年2月、リゾバで大規模な攻撃を行った後、民間人を拘束し殺害した。これらの行為を指揮していたとされるNDSAのリーダーの行為は、国際刑事裁判所の規程に違反しているのかどうか。\*固有名詞は全て架空の名称

## 記

日時：**2011年12月3日(土) 午前9：30－午後6：00**

会場：日本赤十字看護大学 広尾キャンパス

東京都渋谷区広尾4丁目1番3号 TEL：03-3409-0875

対象：日本国内の大学に在籍する大学生、大学院生4名1チーム

使用言語：英語

主催：赤十字国際委員会、国際法学生交流会議、学校法人日本赤十字学園

後援：外務省、日本弁護士連合会、日本赤十字社

取材申込・お問合せ：[赤十字国際委員会 広報／真壁](#)

[03-6459-0752／080-4142-9723](#)